学校番号	３０８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	3年次
使用教科書	高校日本史（山川出版社）						
副教材等	詳細日本史（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

時代ごとの特徴や状況など、基礎となる知識を理解し、その集積を踏まえて、日本がたどった道を考えてもらう。常に生徒が考えることや基本の確認を通じて、グローバルな視点を持つ知識を定着させていくことを指導していく。

2　学習の到達目標

・日本の通史を史実に基づき把握し、社会の構造とその変化の過程を理解する。
・歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
・日本の歴史を世界と関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本史と世界の歴史的事象についての基本的な知識を身につけ、相互の関連性や課題を理解することができたか。 ・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身についたか。	・日本の歴史上の様々な問題を当時の状況や現代との比較などから考察し、公正に判断しようとしたか。 ・また、その判断を現代日本の諸課題と重ねて適切に表現したか。	・日本の歴史的な諸事象・諸課題について、興味・関心を持って意欲的に学習し、理解しようと努めたか。 ・作業学習・調べ学習に意欲的に取り組むことができたか。
上記の観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第7章 武家社会の成長 第8章 近代の幕開け	1 室町幕府の成立 2 下剋上の社会 3 室町文化 4 戦国の動乱 1 天下人の登場 2 豊臣政権と桃山文化	a:鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家社会の関係を理解し、その後の織豊政権の特色や貿易・対外関係の変化について基本的な知識を身に付けている。 b:南北朝の動乱から始まる日本列島の地域社会の変質や、東アジアとの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化に着目し、15～16 世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追及しようとしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート
2学期	第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺	1 江戸幕府の成立 2 江戸初期の外交と文化 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化 1 幕政の改革 2 江戸幕府の衰退 3 化政文化	a:幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成を理解し、江戸時代の社会の構成を理解している。また、産業の発展、飢餓や一揆の発生、幕府政治の動揺と文化などに着目し、幕藩体制下の政治・経済と文化についてなど基本的な知識を身に付けている。 b:織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察して、幕藩体制の特質について、多角的・多面的に考察し、表現している。また、近世の前半と後半を比較し、文化への影響力を持つ地域や担い手の変化をもたらした原因について多角的・多面的に考察し、表現している。 c:織豊政権と幕藩体制の社会の仕組みを比較しながら、鎖国などの幕府の政策について主体的に追及しようとしている。また、幕藩体制下の社会・経済の変化や、幕府、諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追及しようとしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート

2学期	第11章　近世から近代へ 第12章　近代国家の成立	1　開国とその影響 2　幕府の滅亡と新政府の発足 1　明治維新 2　立憲国家の成立	a:江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯や貿易の及ぼした影響を理解しつつ、その後の思想への影響などに着目し、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について理解する。また、明治新政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸国との関係の変化について、基本的な知識を身に着けている。 b:欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目し、日本の政治や経済などの変化などを多角的・多面的に考察し、表現している。また、明治に入り、国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多角的・多面的に考察し、表現している。 c:国際的な視点から考察し、開国のもたらす経済的・社会的影響について主体的に追及しようとしている。また、明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、追及しようとしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート
3学期	第13章　近代国家の展開と国際関係 第14章　近代の産業と生活	1　大陸政策の展開 2　第一次世界大戦と日本 3　ワシントン体制 1　近代産業の発展 2　近代の文化 3　市民生活の変容と大衆文化	a:第一次世界大戦後の国際秩序やワシントン体制を理解し、国内の社会動向に関する基本的な知識を身に付けている。また、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮の関連を理解し、基本的な知識を身につける。 b:日清・日露戦争と国際関係について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。また、大衆化の発展を踏まえ、市民生活と地域社会の変容について多角的・多面的に考察し、表現している。 c:第一次大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や中国進出の状況に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。また、明治文化の特色を主体的に追及しようとしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート

3学期	第15章　恐慌と第二次世界大戦後 第16章　現代の世界と日本	1　恐慌の時代 2　軍部の台頭 3　第二次世界大戦 1　占領下の改革と主権の回復 2　55年体制と高度経済成長 3　現代の情勢	a:世界的な経済恐慌のもと、国内の経済対策と経済の動揺に関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係と戦争への推移について理解する。また、第二次大戦後の諸改革の内容と日本の経済の成長について基本的な知識を身につける。 b:満州事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出など諸事象を相互に関連付けて多角的・多面的に考察し、表現している。また、外交事案がもたらした課題や日本の経済復興や高度成長、様々な社会問題の発生について多角的・多面的に考察し、表現している。 c:日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、現代の日本との関係性を踏まえながら主体的に追及しようとしている。また、55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察し、高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返り、国内政治・経済の課題を主体的に追及しようとしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度